

持続社会イニシアティブ国際会議 (ICSI2015)・第 8 アセアン環境工学会議 (AEEC) がマレーシア-日本国際工科院主催で開催 (2015 年 8 月 24-25 日)

INTERNATIONAL CONFERENCE ON SUSTAINABILITY INITIATIVES (ICSI 2015) IN CONJUNCTION WITH 8TH ASEAN ENVIRONMENTAL ENGINEERING CONFERENCE (AEEC)が、2015 年 8 月 24-25 日に、マレーシア・クアラルンプール市のマレーシア工科大学のマレーシア-日本国際工科院 (UTM/MJIIT) において開催されました。本国際会議は、「持続社会構築のための環境工学」を中心とする国際会議であり、MJIIT の環境グリーン工学科 (EGT) が主催して開催され、アジア地域の研究者を中心に、日本の大学からも基調講演者が招待され講演を行いました。

会議では、マレーシア高等教育局筆頭次官であるザイニ・ウジャン博士(前 UTM 副学長) が基調講演を行い、持続社会実現のための教育の重要性や技術開発の重要性について述べられました。また、筑波大学からは、白岩善博教授 (学長特別補佐 (特命: 環境)) が招かれ、藻類バイオ燃料生産 (Algal Biofuel Production Technology and Engineering) に関する講演を行いました。

また、本会議には、大根田修教授 (筑波大学国際戦略室長) が特別に出席され、ザイニ次官、ワヒド UTM 副学長、ズリアティ EGT 学科長などの要人と面談しました。その際、筑波大学としての UTM/MJIIT への貢献や MJIIT 内の設置されている筑波大学 KL オフィスの活動、筑波大学から MJIIT 教員として赴任されている杉浦則夫教授と岩本浩二准教授の研究・教育活動、ジョイントデグリーでの連携や防災センター・藻類センター設立などに関する筑波大学と UTM/MJIIT との連携強化などについて意見交換を行いました。(文責: 白岩善博)



基調講演中のザイニ・ウジャンマレーシア高等教育省筆頭次官



会議に特別参加した大根田修教授（筑波大学国際戦略室長）と筑波大学の UTM/MJIIT との連携強化について協議中の杉浦則夫 UTM 教授（兼筑波大学特命教授）および岩本浩二 UTM 准教授（兼筑波大学特任准教授、北陸先端科学技術大学客員准教授）。



筑波大学クアラルンプールオフィスを訪問した国際会議参加者。左から、白岩善博教授（筑波大学学長補佐）、松井三郎名誉教授（京都大学）、牧島亮男シニアリサーチフェロー（北陸先端科学技術大学院大学、東京大学名誉教授）、松下潤教授（中央大学、芝浦工業大学客員教授）および岩本浩二准教授（UTM/MJIIT、筑波大学特任准教授、北陸先端科学技術大学院大学客員准教授）。



岩本浩二准教授が共同利用中の実験室の一角。



岩本准教授が指導する学生オフィス（共同実験室にガラス越しで隣接している）